KAWAI

ANYTIME

AK-02

取扱説明書

このたびは、KAWAI消音ピアノユニットAK-02を
ご購入くださいまして、誠にありがとうございます。
本機を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただくためにも、
この取扱説明書をよくお読みになり、
大切に保管してくださいますようお願い申し上げます。

AK-02の特長

リアルで高音質

ハイエンドオーディオ機器に採用されているD/Aコンバータを使用し、弦、ダンパー、フレーム、響板等が発生する複雑で豊かな響きも再現します。

アコースティックのタッチ感

メゾフォルテからフォルテッシモまでの音量を従来よりもさらに細かく再現 （「AK-01」に比べて2倍）、繊細なタッチまで表現できます。

専用アプリで楽しく演奏

専用アプリを使用すると便利な機能が楽しめます。

- 一連の操作がアプリ上の画面で見やすく簡単に行えます。
- 録音した演奏データを共有することができます。
- イコライザー、調律などアプリ専用の機能が使えます。

● Androidのとき
Google Play

対応OS：6.0以上

● iOSのとき
App Store

対応OS：iOS12.0以上

ご利用前に専用アプリをインストールしてください。

目次

演奏の準備

安全上のご注意 …… 6
各部の機能と名称 …… 10
電源を入れる …… 12
音量を調節する …… 13
専用アプリと接続する …… 13

演奏する

消音して演奏する …… 16
デモ演奏を聴く …… 17
音色を選択する …… 18
ユーザープリセット …… 20
録音と再生 …… 21
　録音する …… 21
　録音した演奏を聴く …… 22
　再生速度を変える（変速再生） …… 23
　録音曲を消去する …… 24
メトロノームを使う …… 26

より楽しむ機能

音に様々な効果をかける（エフェクト） …… 30
音のキーを変える（トランスポーズ） …… 31
ピアノの音質を調整する（イコライザー） …… 32
音の高さ（ピッチ）を微調整する（チューニング） …… 33
録音データを転送する …… 34
　本機からスマートデバイスへの転送 …… 34
　スマートデバイスから本機への転送 …… 35
　データの共有 …… 36
他の機器と接続する …… 39

目次

各種設定

鍵盤のタッチ感を変える（タッチ調整） …… 40
黒鍵の音量を調整する（黒鍵音量調整） …… 41
鍵盤毎の音量を調整する（各鍵音量調整） …… 42
打鍵時の発音するタイミングを調整する（鍵盤検知範囲設定） … 44
鍵盤を連打できる回数を変える（鍵盤連打設定） …… 45
ペダルの調整 …… 46
　ペダルの機能が働く深さを調整する …… 46
　ダンパーペダルの働き方を変える …… 47
　ソフトペダルの効果具合を変える …… 48
調律を変える（調律カーブ） …… 49
パネルの輝度を変える …… 50
オートパワーオフ機能を使う …… 50
設定の初期化（工場出荷設定） …… 51
初期設定 …… 52

付録

末永くご使用いただくために（メンテナンス） …… 56
Q&A …… 57
故障かな？とおもったら …… 58
デモ曲/音色リスト …… 60
MIDIインプリメンテーション …… 61
本体仕様 …… 62

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
小さなお子様がいる場合は、保護者の管理の元、安全にお使いください。

●警告と注意、記号表示について

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容が記載されています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

	⚠記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。
	⃠ 記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。
	❗ 記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

安全上のご注意

⚠ 警告

100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

・電圧の異なる電源を使用しないでください。
発火の恐れがあります。

本機専用

付属のACアダプタと電源コードは本機でのみ使用する

・付属のACアダプタ/電源コード以外を本機で使用しないでください。

電源コードやACアダプタのコードは、無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしない

コードが破損し、発火、感電、故障の恐れがあります。

濡れた手で触らない

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の恐れがあります。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らす(つける、かける、こぼす)などしない

漏電によって、感電や発火の原因になります。

照明用のロウソクなど裸の火を機器の上に置かない

異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

液体、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

・怪我および破損の恐れがあります。
・運搬の際は、必ず2人以上で運んでください。

長時間使用禁止

ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

故障、感電、ショートの原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

プラグ部分を持つ

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

■窓際など直射日光の当たる場所
■暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
■戸外など極端に温度の低い場所
■極端に湿度の高い場所
■砂やホコリの多い場所
■振動の多い場所
故障の原因になります。

⚠ 注意

プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しないときは必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。

電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

他電気機器から離す

テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

・本機が雑音を発する恐れがあります。
・本機が雑音を発したら、他の接続機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用ください。

からまないようにする

電源コード、接続コード類はピアノ本体で踏んだりからまないように接続する

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

電源プラグはすぐに抜くことができる状態にしておく

本機は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグはすぐに抜くことができる状態にしておいてください。

ベンジン/シンナー禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

・色落ちや、変形の原因になります。
・清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから軽く拭いてください。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

ヘッドホン使用時は、構造上打鍵音が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

安全上のご注意

●保証書について

・本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。
　保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入がない場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
・保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

●修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。

●知的財産権について

・Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はライセンスに基づき使用しています。

・iPhone/iPad/iTunes/iCloud/Macは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

・Android/Google Play/Google Driveは、Google LLC. の商標です。

・MIDIは、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

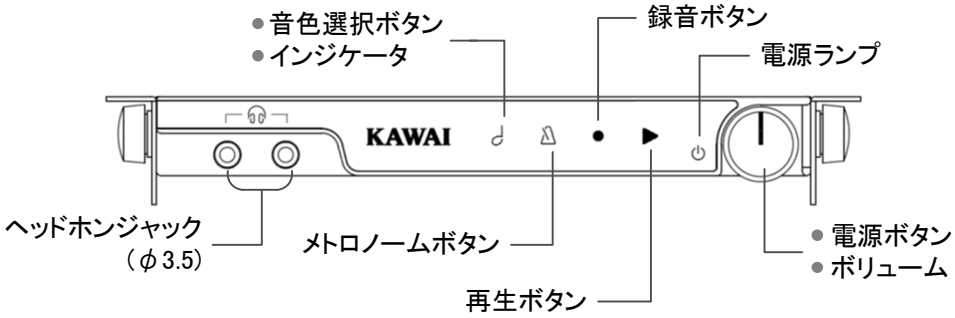
・Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

・その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

・市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、著作権法上、権利者に無断で個人的に又は家庭内その他これに準ずる範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

各部の機能と名称

本機前面



電源ボタン・ボリューム

お願い　ご使用後は必ず電源をお切りください。

電源ボタン
押すと電源がオン/オフします。

ボリューム
ヘッドホンの音量、ライン出力の音量を調節します。

電源ランプ

電源がオンになっているとランプが点灯します。
また、専用アプリと接続している場合は点滅します。

ヘッドホンジャック（φ3.5ステレオ）

ミニステレオプラグのヘッドホンを接続する端子です。
同時に2つのヘッドホンが使用できます。

音色選択ボタン・インジケータ

発音する音色を選択します。
音色選択ボタンを押して音色を変更したときや発音したときに点滅します。

メトロノームボタン

メトロノームの開始/停止や設定をします。
メトロノームの動作中は点灯し、設定中は点滅します。
メトロノームが開始するとインジケータが点滅します。

再生ボタン

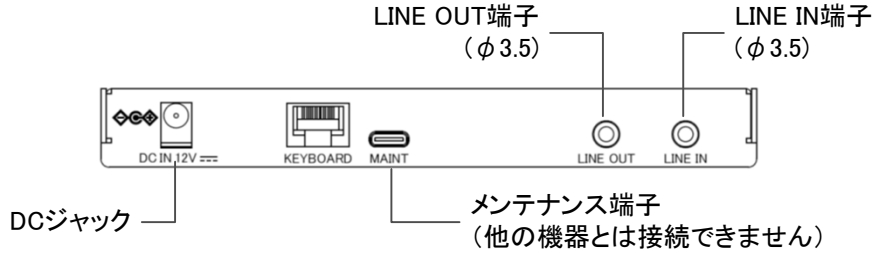
録音曲やデモ曲の再生の開始/停止をします。
録音曲の再生中は点灯し、デモ曲の再生中は点滅します。

録音ボタン

録音を開始/停止します。
録音中は点灯します。

各部の機能と名称

本機背面



DCジャック

付属のACアダプタを接続します。

警告 付属品以外のACアダプタは、絶対に使用しないでください。

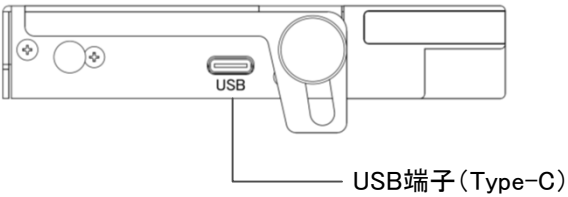
LINE OUT端子（φ3.5ステレオ）

本機の音を外部オーディオ機器へ出力します。
本機前面にあるボリュームにて出力レベルを調節できます。

LINE IN端子（φ3.5ステレオ）

他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子と接続します。
LINE INで入力された音とピアノで弾いた音がヘッドホンから鳴ります。

本機側面

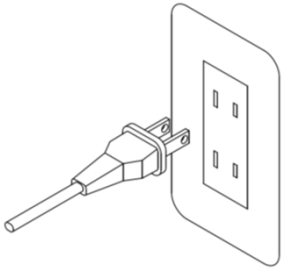


USB端子（Type-C）

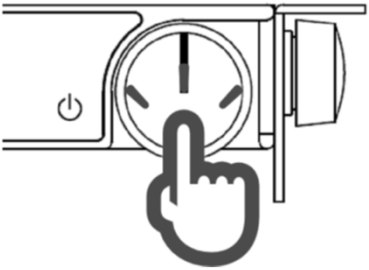
USBケーブルを使用してコンピュータと接続できます。

USB Type-C to USB A
USB Type-C to USB Type-C
これらのケーブルが使用できます。

電源を入れる



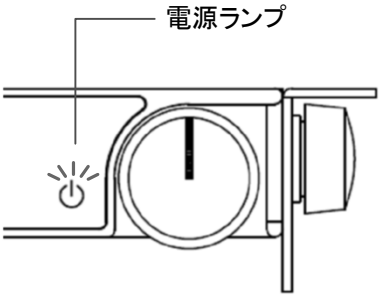
1 アダプターをコンセントに接続する



2 電源ボタンを押す

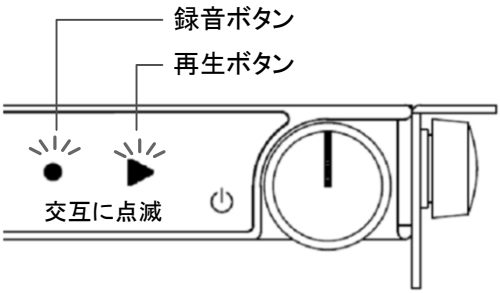
お願い

電源を入れる際、センサーを最適化しますので、鍵盤やペダルには触れないようにしてください。



3 電源ランプが点灯します

その他ボタンは弱く点灯します。

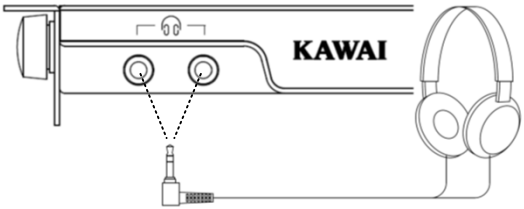


こんなときは

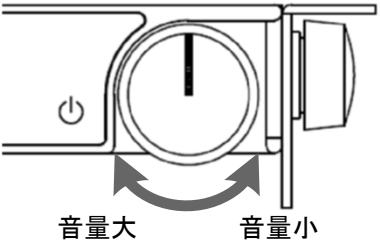
録音ボタンと再生ボタンが交互に点滅する

初期設定の状態ですので、初期設定操作を実施してください。
⇒52ページ

音量を調節する



ヘッドホン（付属）をヘッドホンジャックへ接続します。



ボリュームのつまみで音量を調整します。
時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。
実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。

専用アプリと接続する

1　専用アプリ「ANYTIME AK-02」（無料）をインストールする

Google PlayまたはApp Storeで「ANYTIME AK-02」を検索するまたはQRコードを読み取る

● Androidのとき
Google Play

対応OS：6.0以上

● iOSのとき
App Store

対応OS：iOS12.0以上

2 Bluetoothを「オン」に設定する

Androidのとき

設定画面より「接続」をタップする

「Bluetooh」をONにする

「位置情報」をONにする

iOSのとき

設定画面より「Bluetooth」をタップする

「Bluetooth」をONにする

3 専用アプリ『ANYTIME AK-02』を起動する

Androidのとき

初回の起動時に位置情報へのアクセス許可の画面が表示されるので「許可」をタップする。

右上のBluetoothマークをタップする

AK-02をタップし、「接続済」と表示されたらOKをタップする

本体の電源ランプが点滅を開始したら接続完了となります。

説明

アプリには、Bluetooth接続を行うために"位置情報"、録音・再生時には"ストレージ"のアクセス権限が必要ですが、アプリ内では位置情報は使用していません。

iOSのとき

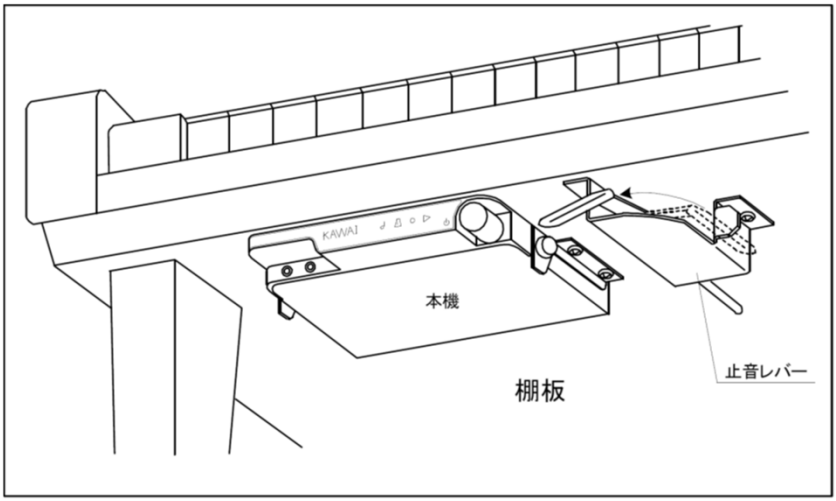
右上のBluetoothマークをタップする

「未接続」をタップする

「接続済」に表示が変わり、本体の電源ランプが点滅を開始したら接続完了となります。

消音して演奏する

1 止音レバーを手前に引きます。



ピアノから音が出なくなります。
元に戻すと、通常のピアノ演奏ができます。

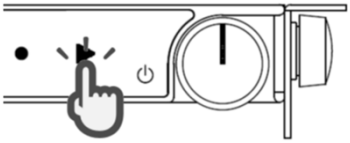
2 ヘッドホンで演奏をお楽しみください。

演奏を始めるとピアノの音色でヘッドホンから音が出ます。

デモ演奏を聴く

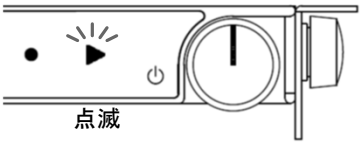
1 デモ演奏を開始する

再生ボタンを長押しする。

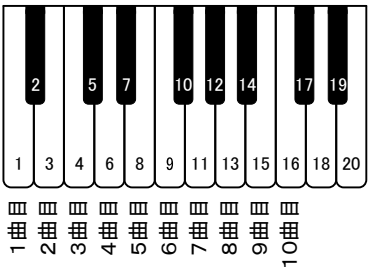


長押し(2秒程度)

2 再生ボタンが点滅し、1曲目から順に演奏を開始します



鍵盤左端



デモ演奏中は右記鍵盤を押すことにより、曲を選択することができます。

デモ演奏中に鍵盤で演奏することができます。
曲選択の鍵盤以外を押すことで可能になります。

こんなときは

点滅せずに点灯した場合

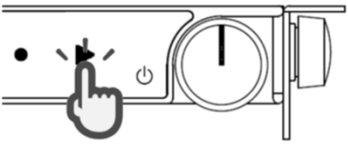
⇒録音曲が再生されています
もう少し長く押していてください。

ご注意

演奏すると曲の選択はできなくなります。
再び曲を選択したい場合は、手順3⇒1を行い、再度デモ演奏を開始してください。

3 デモ演奏を終了する

再生ボタンを押す。



音色を選択する

選択方法は3つあります。

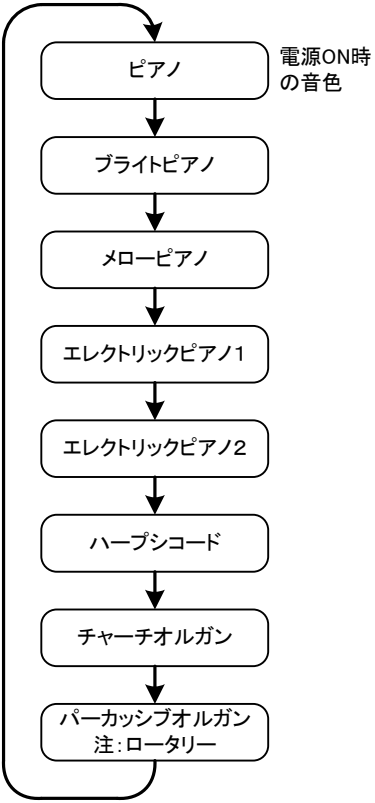
①音色選択ボタンでの選択

8音色から選択できます。

1　音色選択ボタンを押す

音色選択ボタンを押すごとに
右記の順番で音色が変わります。

※音色の中にはエフェクトが初めから
設定されているのもあります。



ご注意

ロータリーのエフェクトがかかっている音色の場合
ペダルは以下の動作になります。

- ダンパーペダル
  ロータリー動作中はSlow ⇔ Fastの切り替えができ、
  ロータリー停止中は再開します
- ソフトペダル
  ロータリーを停止します

②専用アプリでの選択

128音色から選択できます。

「ホーム」タブ画面の「音色」をタップして好みの音色を選択してください。

また、音色選択ボタンの操作で選択する音色を変更することもできます。
詳細は、20ページのユーザープリセットを参照してください。

音色を選択する

③鍵盤での選択

88音色から選択できます

1 音色選択ボタンを押したままにする

2 鍵盤より音色を選択する

1	ピアノ
2	ブライトピアノ
3	メローピアノ
4	ピアノ＋ストリングス(Fast)
5	ピアノ＋ストリングス(Slow)
6	ブライトピアノ＋リバーブ
7	エレクトリックピアノ1
8	エレクトリックピアノ2
9	ハープシコード
10	チャーチオルガン
11	ウォームオルガン
12	パーカッシブオルガン
13	エレクトリックピアノ3
14	ホンキートンク
15	エレクトリックピアノ4
16	クラビネット
17	チェレスタ
18	グロッケン
19	オルゴール
20	ビブラホーン
21	サントゥール
22	ドローバーオルガン1
23	ドローバーオルガン2
24	ロックオルガン
25	スモールチャーチオルガン
26	リードオルガン
27	フレンチアコーディオン
28	ハーモニカ
29	バンドネオン
30	ギター(ナイロン弦)
31	ギター(スチール弦)
32	エレキギター(ジャズ)
33	コーラスギター
34	オーバードライブギター
35	ディストーションギター
36	アコースティックベース
37	フィンガリングエレキベース
38	スラップベース
39	シンセベース
40	バイオリン
41	チェロ
42	トレモロストリングス
43	ハープ
44	ストリングス

45	スローストリングス
46	ストリングス＋ホルン
47	シンセストリングス
48	コーラス
49	コーラス2
50	シンセボーカル
51	トランペット
52	トロンボーン
53	チューバ
54	フレンチホルン
55	ブラス＋トランペット
56	シンセブラス1
57	シンセブラス2
58	シンセブラス3
59	シンセブラス4
60	ソプラノサックス
61	アルトサックス
62	テナーサックス
63	バリトンサックス
64	イングリッシュホルン
65	バスーン
66	クラリネット
67	ピッコロ
68	フルート
69	リコーダー
70	パンフルート
71	オカリナ
72	シンセリード2(鋸歯状波)
73	シンセリード5(チャラング)
74	シンセリード6(声)
75	シンセリード8(ベース + リード)
76	シンセパッド2(ウォーム)
77	シンセパッド3(ポリシンセ)
78	シンセパッド4(人声)
79	シンセパッド5(ボウ)
80	シンセパッド7(ハロー)
81	クリスタル
82	アトモスフィア
83	ブライトネス
84	エコー
85	シタール
86	琴
87	バグパイプ
88	スチールドラム

3 音色選択ボタンを離す

最後に選択した音色が設定されます。

ユーザープリセット

よく演奏する設定（音色とエフェクトの組み合わせ設定）をAK-02に保存することができます。
保存したユーザープリセットを音色選択ボタンやアプリで選ぶだけで、お好みの設定で演奏が始められます。
この操作は専用アプリから行います。

Androidのとき

各種機能を変更した後、保存をタップする

保存したいプリセット番号を選択した後、OKをタップする

iOSのとき

各種機能を変更した後、保存をタップする

保存したいプリセット番号を選択した後、OKをタップする

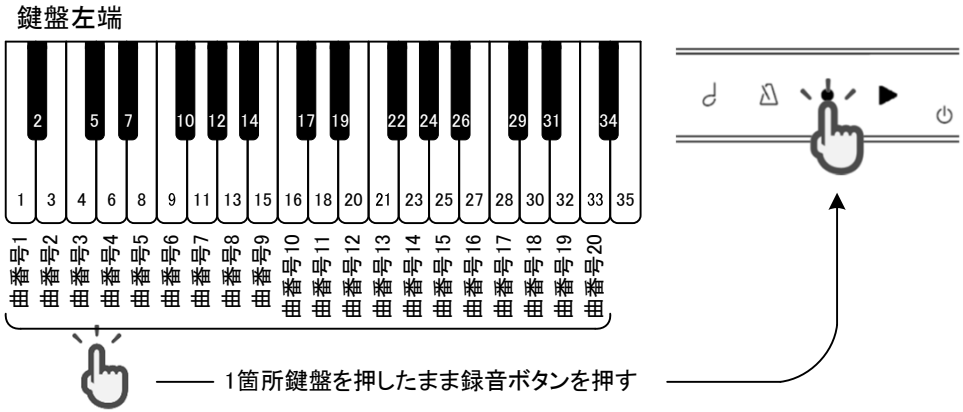
録音と再生

本機には20曲まで録音して再生することができます。
連弾や反復練習などに便利です。

①録音する

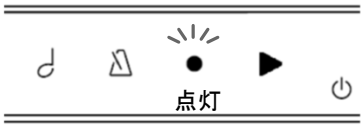
1　録音を開始する

録音したい曲番号の鍵盤を押しながら、録音ボタンを押す。



2　演奏する

録音ボタンが点灯したら録音の準備が完了



ご注意

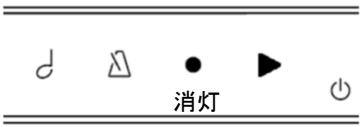
既に登録のある曲番号に新しく録音操作を行ってしまうと、前回の録音内容は上書きされ消えてしまいます。

演奏を行います。演奏が始まると同時に録音を開始します。

3　録音を終了する

録音ボタンを押す

録音ボタンが消灯
これで録音完了



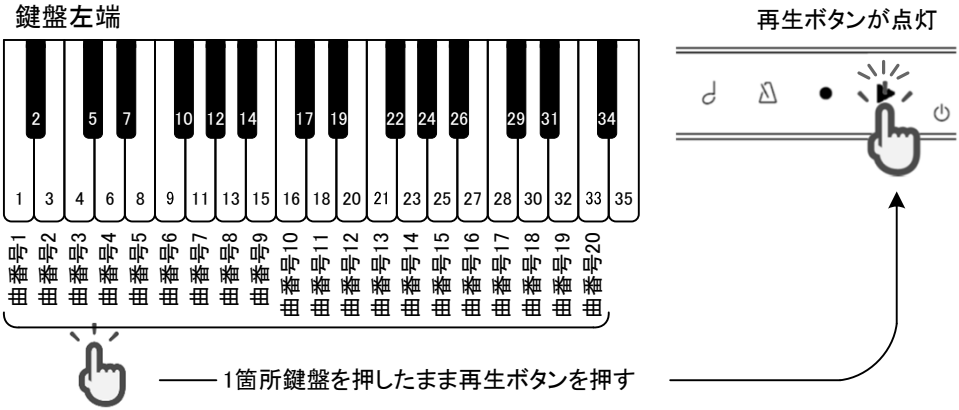
補足

録音容量がいっぱいになったら、録音は自動で停止します。

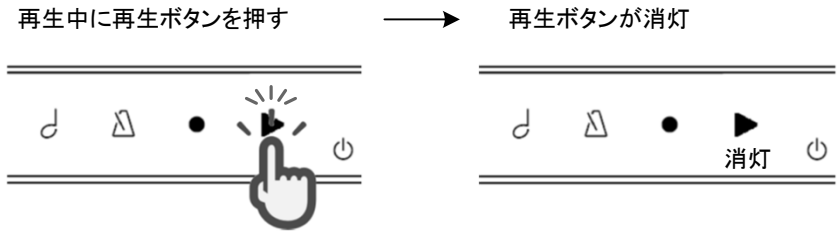
②録音した演奏を聴く

1　再生を開始する

再生したい曲番号の鍵盤を押しながら、再生ボタンを押す。



2　再生を終了する



補足

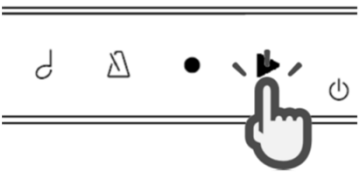
再生中に曲番号の鍵盤及び次ページの変速再生の以外の鍵盤操作をすると、
全鍵盤での演奏が可能になります。

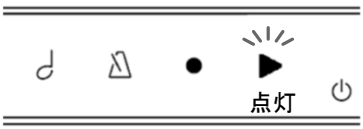
③再生速度を変える（変速再生）

録音した演奏の再生速度を変えて聴くことができます。
変速範囲は録音した演奏を標準として、0.5倍～標準（1.0倍）～2.0倍まで±5段階です。

1　再生を開始する

再生ボタンを押す → 再生ボタンが点灯





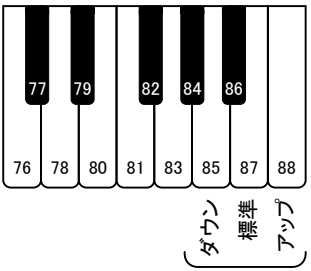
約1秒後に演奏が再生されます。
このとき曲番号1の録音曲が再生されます。

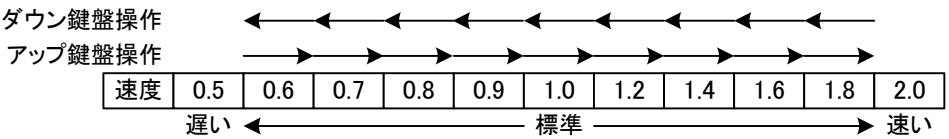
2　変速再生する

右記鍵盤よりアップ鍵盤、ダウン鍵盤を操作してお好みの速度で再生してください。

- アップ鍵盤
  1回操作する毎に再生速度の段階を1段階速くします。
- ダウン鍵盤
  1回操作する毎に再生速度の段階を1段階遅くします。
- 標準鍵盤
  再生速度を1.0倍に戻します。

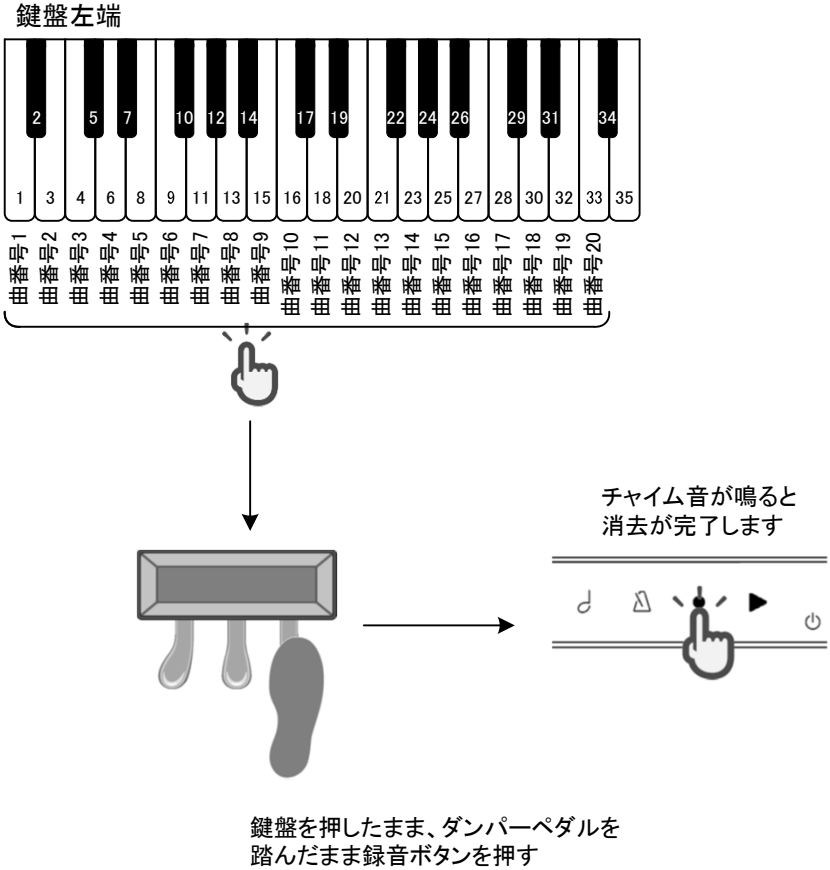
鍵盤右端





④録音曲を消去する

曲番号を選択し、ダンパーペダルを踏みながら録音ボタンを押す。



鍵盤を押したまま、ダンパーペダルを
踏んだまま録音ボタンを押す

ワンポイント

曲番号1に素早く録音する

録音ボタンだけ押す。

録音ボタンが点灯したら録音の準備が完了

演奏を行います。演奏が始まると同時に
録音を開始します。

ご注意

演奏を開始すると録音を開始しますが、既に曲番号1に録音されているデータは
演奏開始のタイミングで上書きされます。

曲番号1を素早く再生する

再生ボタンだけ押す。

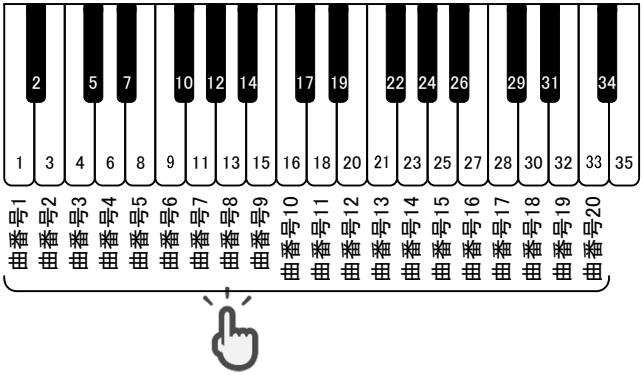
再生ボタンが点灯

約1秒後に演奏が再生されます。

再生中に選曲する

再生中に曲番号の鍵盤を押すことにより、録音曲を選択することができます。

鍵盤左端



ご注意

再生中に選曲及び23ページの変速再生の以外の鍵盤操作をすると、全鍵盤での演奏が可能になりますが、選曲や変速再生ができなくなります。
⇒ここから選曲したい場合は、一旦再生を終了して手順1から再度行ってください。

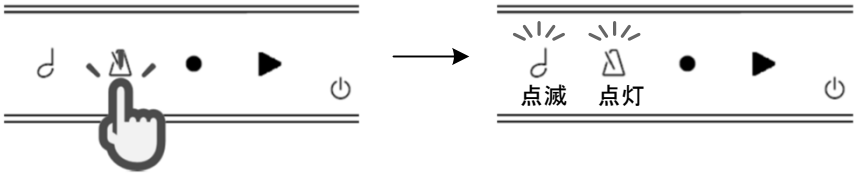
メトロノームを使う

メトロノーム音のON／OFFや拍子、テンポ、メトロノームの音量といった各設定を行います。

①メトロノーム音のON／OFF

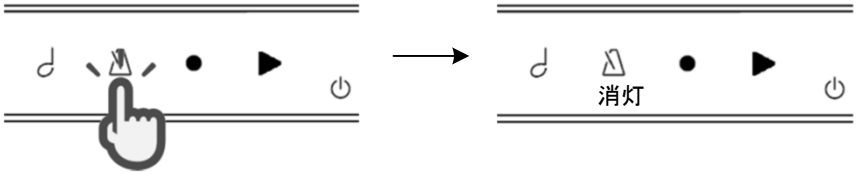
1 メトロノームボタンを押す

メトロノームボタンが点灯して、
メトロノームが鳴り始めます。
インジケータも点滅します。



2 再度メトロノームボタンを押す

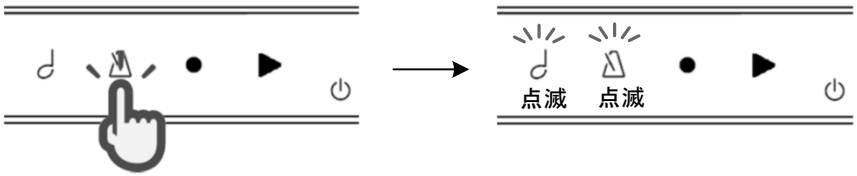
メトロノームボタンが消灯して、
メトロノームが止まります。



②メトロノームの設定

1 メトロノームボタンを長押しする

メトロノームボタンが点滅して、
メトロノームが鳴り始めます。
インジケータも点滅します。



長押し(2秒程度)

こんなときは

点滅せずに点灯した場合

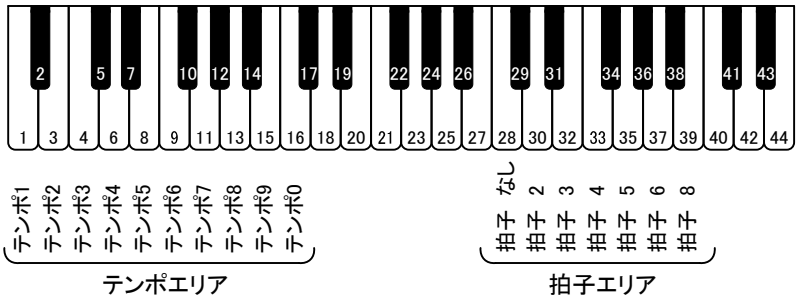
⇒設定状態ではありません
もう少し長く押していてください。

②メトロノームの設定（つづき）

2 拍子・テンポ・音量を設定する

下記鍵盤から対応する鍵盤を押して設定します。

鍵盤左端



拍子

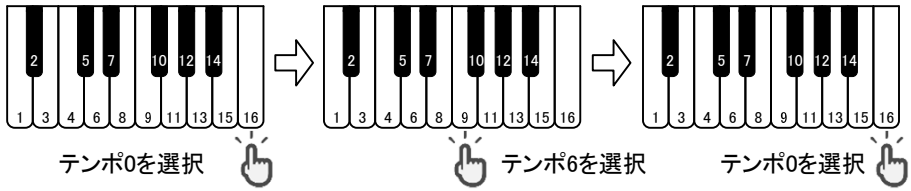
拍子エリアから選択します。

テンポ

テンポエリアに割り当てられている数字を3回選択します。
設定できるテンポは30～250の範囲です。

例：テンポを132にする

例：テンポを60にする



ご注意

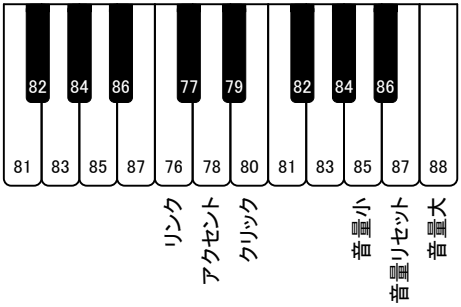
テンポの選択で範囲外を選択した場合は無効になり、設定されません。

②メトロノームの設定（つづき）

音量

下記鍵盤からメトロノームの音量を調整します。音量レベルは10段階

鍵盤右端

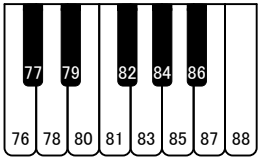


リンク	アクセントとクリック音量を同時に変更
アクセント	アクセントのみ音量を変更
クリック	クリックのみ音量を変更
音量小	打鍵する度に音量が1段階小さくなる
音量大	打鍵する度に音量が1段階大きくなる
音量リセット	初期値の音量に戻る

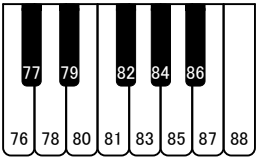
補足

アクセントとクリックの音量が異なる状態のときにリンク鍵盤を押すと、小さい音量の方に合わせてどちらも同じ音量に変更されます。

調整手順



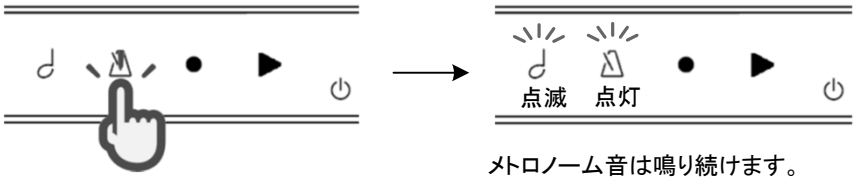
リンク、アクセント、クリックいずれかを選択



音量大または音量小を選択

3 メトロノームボタンを押して設定を完了する

メトロノームボタンが点灯に変わり、設定が確定します。



メトロノーム音は鳴り続けます。
⇒止める場合は、もう一度
　メトロノームボタンを押してください。

補足

設定した内容は電源を切っても保持されます。

音に様々な効果をかける（エフェクト）

エフェクト設定では以下の設定ができます。

エフェクトの種類		効果	レベル設定
リバーブ	ルーム	室内で演奏している響き	1～12
	ホール	コンサートホールで演奏している響き	
コーラス		音にゆらぎを与える効果	1～12
ロータリー		ロータリースピーカの効果	
ディレイ		やまびこのような反響を加える効果	1～12

補足

- コーラス・ロータリー・ディレイを複数同時に効果をかけることはできません。
  いずれかひとつになります。
- 電源を切ると設定値は初期値に戻ります。
  変更内容を保存したい場合はユーザープリセット機能を使用してください（20ページ）。

1 設定を開始する

音色選択ボタンを押しながらメトロノームボタンを押す。このときチャイム音が鳴ります。

2 エフェクトの種類を選択する

次ページの鍵盤表のリバーブまたは他エフェクトエリアから対応する鍵盤を押して
選択します。ロータリーを選択した場合は、レベル選択はできません。

★印の鍵盤（鍵盤88）を押すことで初期値にリセットされます。
トランスポーズもリセットされます。

3 レベル（効果の強さ）を選択する

次ページの鍵盤表のレベルエリアから対応する鍵盤を押して選択します。

4 2つのボタンから指を離して設定を完了する

補足

ロータリーを選択するとペダルは以下の動作になります。

- ダンパーペダル
  Slow ⇔ Fastの切り替え、および
  ソフトペダルによりロータリー停止時のときはロータリーの再開
- ソフトペダル
  ロータリー停止（Semi-Off）

Semi-Off後、ダンパーペダルの操作で
Semi-Off前のスピードで再開します。

音のキーを変える（トランスポーズ）

トランスポーズ設定は半音単位で移調ができます。設定範囲は2オクターブです。

1 設定を開始する

音色選択ボタンを押しながらメトロノームボタンを押す。このときチャイム音が鳴ります。

2 キーを変える

下記鍵盤表のトランスポーズエリアより好みで
半音－、半音＋を選択します。
選択する毎に半音ずつ移調されます。

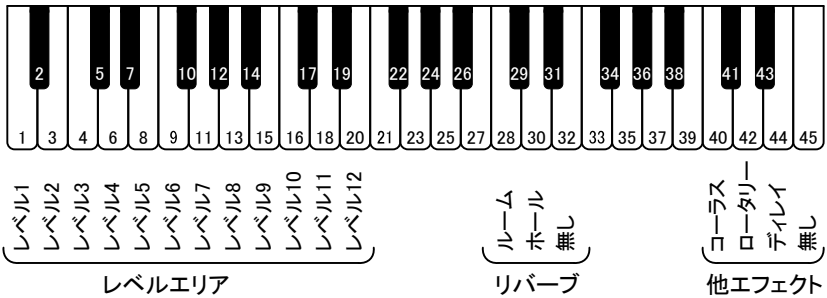
設定をリセットする場合は、標準を選択します。

ご注意

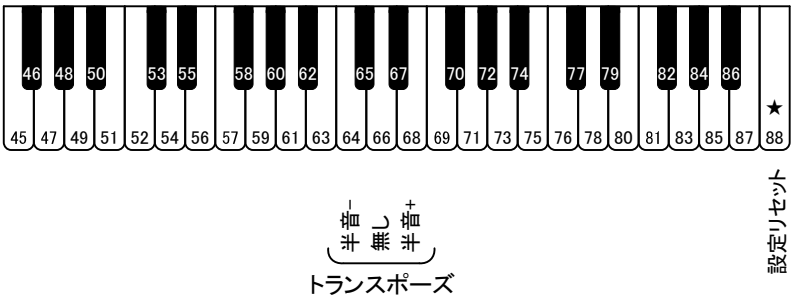
MIDI出力にはトランスポーズ設定は反映されません。

3 2つのボタンから指を離して設定を完了する

鍵盤左端



鍵盤右端

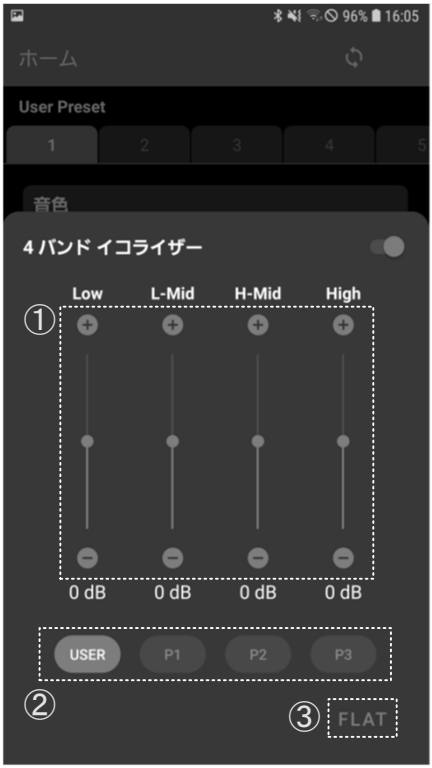


ピアノの音質を調整する（イコライザー）

ピアノサウンドの音質を変える場合に調整します。
この操作は専用アプリから行います。

＜イコライザー設定の画面＞

Androidのとき



iOSのとき

① ユーザー編集では+ボタン、−ボタン、スライダーを使ってレベルを調整します

② ユーザー編集と3種類プリセットを切り替えます

③ 各レベルをフラットに設定します

ご注意

イコライザーの変更は、現在選択されている音色に適用されます。
電源を切ると設定値はFLATに戻ります。
変更を保存したい場合は、ユーザープリセット機能をご使用ください。

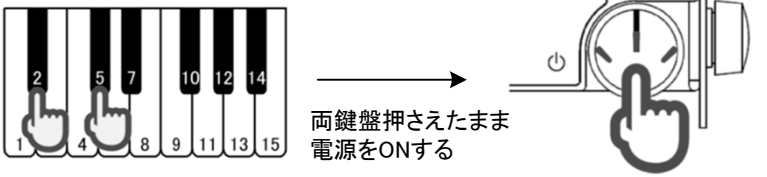
音のピッチを微調整する（チューニング）

音のピッチ（音程）を調整することができます。
値は427.0Hz～453.0Hzの間で、0.5Hzずつ変更できます。出荷時は440Hzに設定されています。

1　設定を開始する

鍵盤2と5を押しながら電源を入れる。このときチャイム音が鳴ります。
（鍵盤は押さえたまま）

鍵盤左端



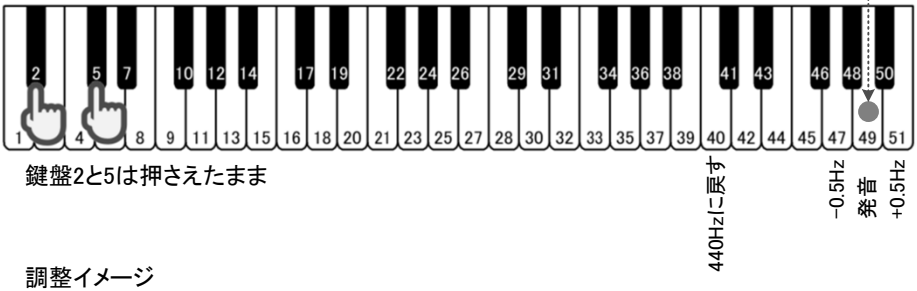
2　値を調整する

下記鍵盤表より＋0.5Hz、－0.5Hzの鍵盤を使って調整します。
音程の確認は●印の鍵盤を押して発音させます。

＋の鍵盤は1回の打鍵毎に0.5Hz高くなります（最大453Hz）

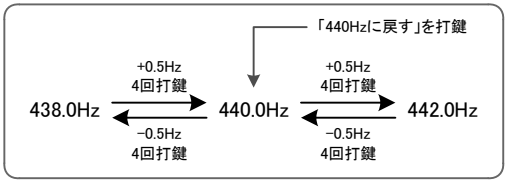
－の鍵盤は1回の打鍵毎に0.5Hz低くなります（最小427Hz）

鍵盤左端



鍵盤2と5は押さえたまま

調整イメージ



3　鍵盤から指を離して設定を終了する

調整が終わったら鍵盤2と5から指を離します。
この時、最後に合わせた音程が設定され、電源を切っても保持されています。

録音データを転送する

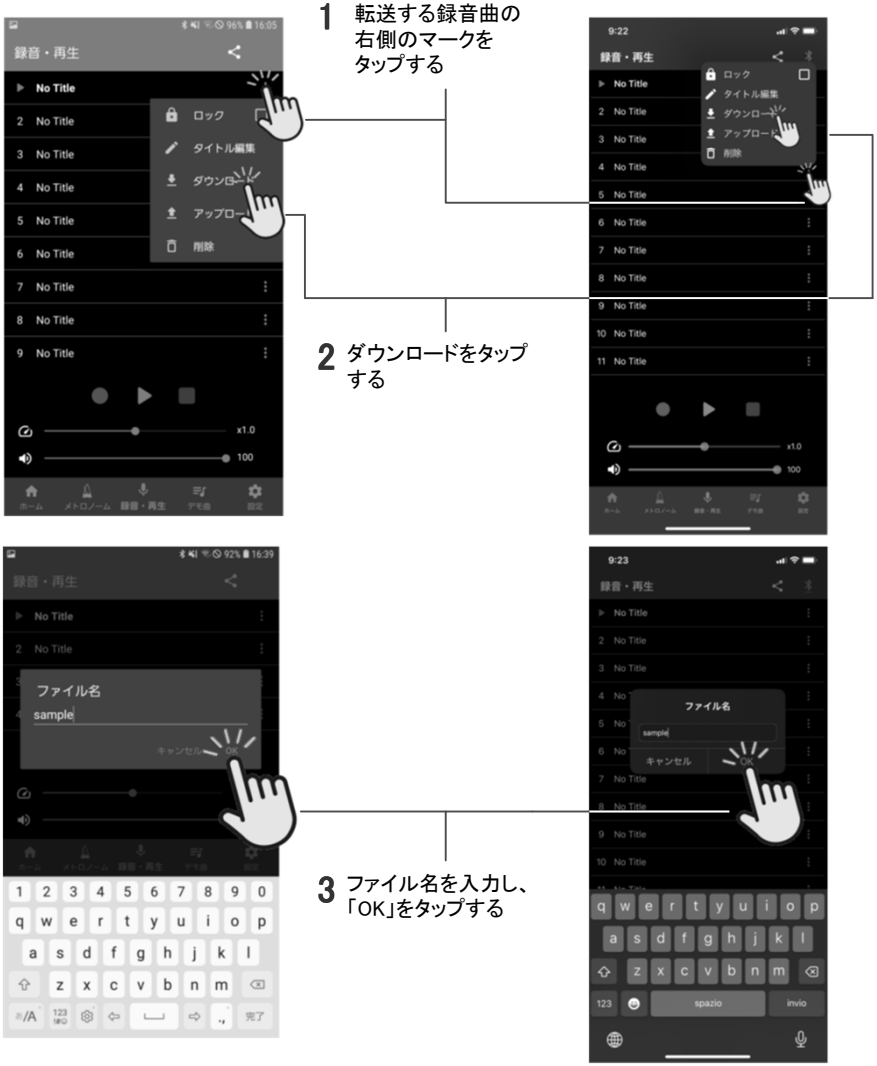
本機に録音したデータをスマートデバイスに転送、及びスマートデバイスに保存されているデータを本機に転送することができます。
この操作はスマートデバイスから行います。

①本機からスマートデバイスへの転送

本機には20曲まで保存することができますが、スマートデバイスへ転送することで、より多くの録音データを保存することができます。

＜録音・再生の画面＞

Androidのとき　　iOSのとき



1 転送する録音曲の右側のマークをタップする

2 ダウンロードをタップする

3 ファイル名を入力し、「OK」をタップする

録音データを転送する

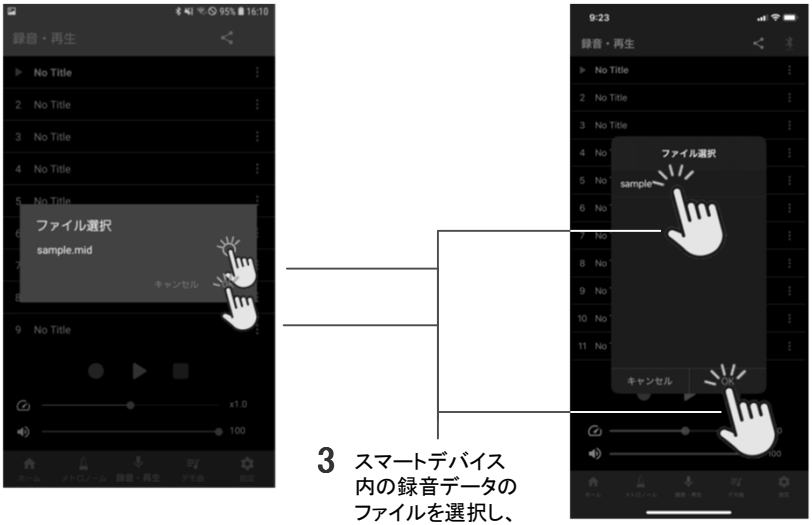
②スマートデバイスから本機への転送

補足

録音したデータの他にMIDIデータも転送できますが、転送できるデータは
MIDIフォーマット0です。

＜録音・再生の画面＞

Androidのとき　　iOSのとき



より楽しむ機能

録音データを転送する

③データの共有

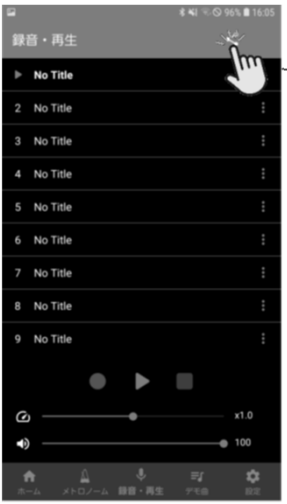
メール、iCloud、Google ドライブなどOSが使用できる共有アプリを表示します。

補足

共有できるデータはスマートデバイス内のMIDIファイルだけです。本機に録音したデータを共有したいときは、先に34ページの操作でスマートデバイスへデータを転送してください。

例：メールを使用した場合

Androidのとき



1 共有マークをタップする

2 共有するファイルを選択する

3 OKをタップする

4 メールアプリをタップする

5 メールアプリが起動する

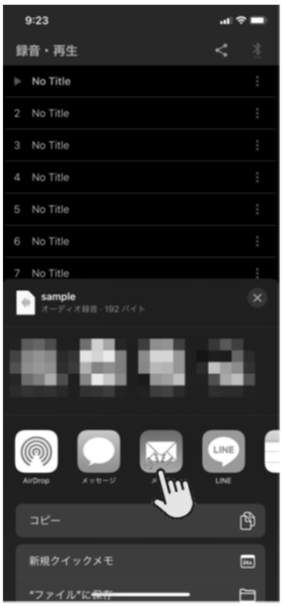
録音データを転送する

iOSのとき

1 共有マークをタップする

2 共有するファイルを選択する

3 OKをタップする



4 メールアプリをタップする

5 メールアプリが起動する

録音データを転送する

iCloud への転送方法

1 共有マークをタップする

2 共有するファイルを選択する

3 OKをタップする

4 上にスライドする

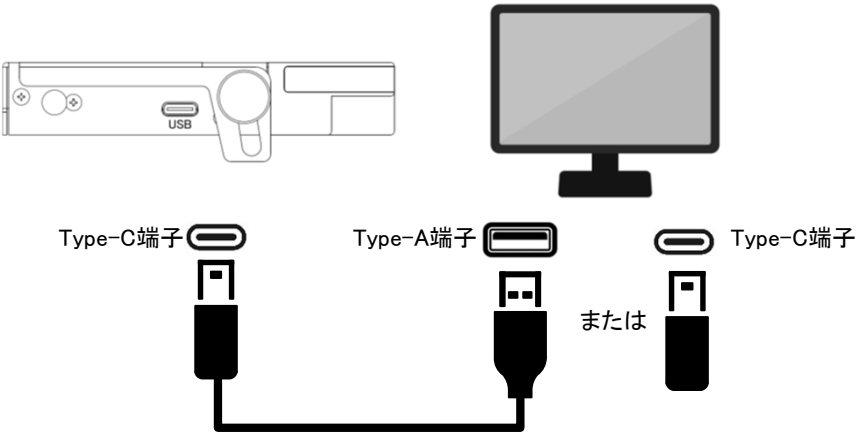
5 "ファイル"に保存をタップする

6 保存先をiCloud Driveに設定し保存をタップする

他の機器と接続する

①コンピュータと接続する

市販のUSBケーブル（Type C to AまたはType C to Type C）を使用してコンピュータのMIDIデータをAK-02の音源で鳴らすことができます。また、AK-02で演奏した情報をMIDIデータとしてコンピュータに送信して、データの編集や保存ができます。



接続すると自動でMIDIドライバがインストールされます。

②Bluetooth MIDIで接続する

AK-02は、Bluetooth MIDI規格に対応しており、GarageBandなどのiPhone/iPad/Macの音楽製作アプリや、Androidの音楽製作アプリとワイヤレスで接続し、MIDIデータを入出力することができます。
AK-02をBluetooth MIDIで接続するには、各アプリのBluetooth MIDIデバイスの設定で、"AK-02"を選択してください。

ご注意 WindowsのBluetooth MIDIはサポートしていません。

MIDIチャンネルの仕様

以下のMIDIチャンネルを使用しています。

チャンネル1	鍵盤による演奏データ
チャンネル2	録音したデータの再生
チャンネル3	ペダルの共鳴音
チャンネル4	

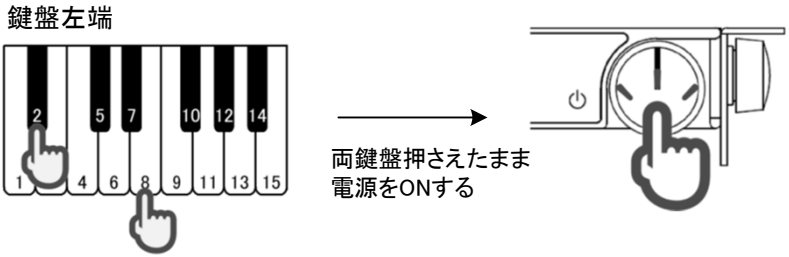
コンピュータからMIDIデータを送る際は、チャンネル1、2、3、4を避けてMIDIメッセージを送信してください。
チャンネル1にデータを入力して音色が変更された場合は、音色選択ボタンの再投入を行えば、元の音色に戻すことができます。

鍵盤のタッチ感を変える（タッチ調整）

ピアノの種類や型式によって、鍵盤の動きやすさが異なり、ピアニシモからフォルテシモまでの変化が出にくい場合がありますので、ピアノに合わせて調整してください。
鍵盤の動きが遅い（重い）場合は1～3を、速い（軽い）場合は5～8に合わせます。

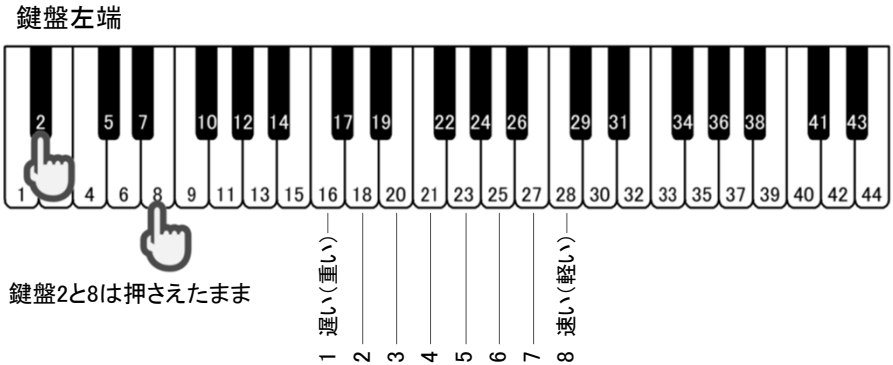
1 調整を開始する

鍵盤2と8を押しながら電源を入れます。このときチャイム音が鳴ります。
（鍵盤は押さえたまま）



2 調整する

下記鍵盤表より適切なタッチ感になる箇所を選択します。



3 鍵盤から指を離して調整を終了する

調整が終わったら鍵盤2と8から指を離します。
この時、最後に選択したタッチ調整が設定され、電源を切っても保持されています。

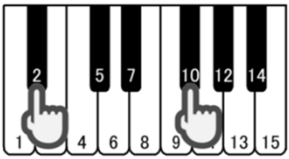
黒鍵の音量を調整する（黒鍵音量調整）

黒鍵の音量を調整して、白鍵と黒鍵の音量バランスを変えます。

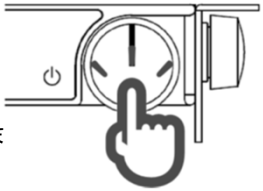
1 調整を開始する

鍵盤2と10を押しながら電源を入れます。このときチャイム音が鳴ります。
（鍵盤は押さえたまま）

鍵盤左端



両鍵盤押さえたまま
電源をONする



2 調整する

下記鍵盤表より白鍵音量に合った黒鍵の音量を選択します。

鍵盤左端

鍵盤2と10は押さえたまま

小さい　大きい

−5　−4　−3　−2　−1　0　+1　+2　+3　+4　+5

3 鍵盤から指を離して調整を終了する

調整が終わったら鍵盤2と10から指を離します。
この時、最後に選択した黒鍵音量に設定され、電源を切っても保持されています。

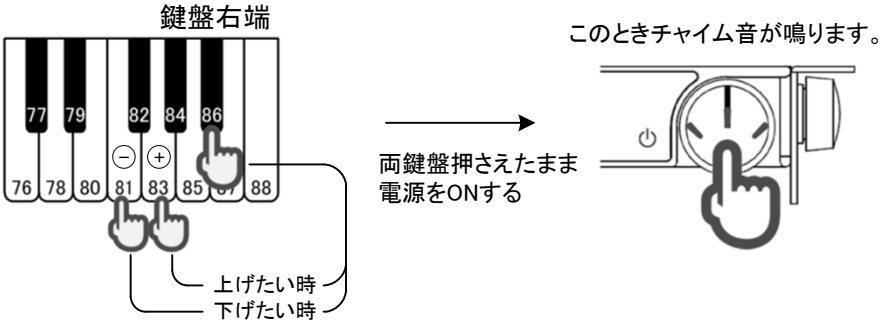
鍵盤毎の音量を調整する（各鍵音量調整）

鍵盤毎に音量を調整して、全体の音量バランスを合わせます。
調整範囲は±10段階です。

①左44鍵盤の調整

1 調整を開始する

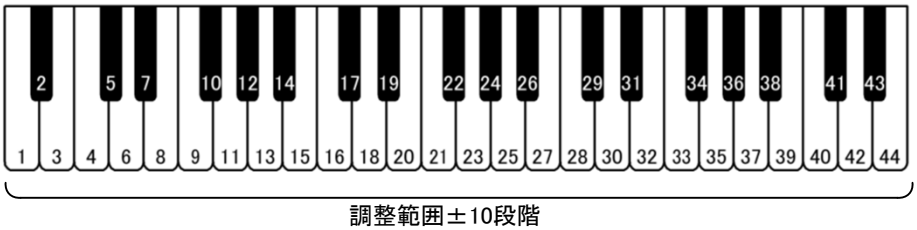
レベルを上げたい時 ⇒ 鍵盤86と83（+印の白鍵）を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時 ⇒ 鍵盤86と81（−印の白鍵）を押しながら電源を入れます。



2 調整する （調整開始時の両鍵盤は押さえたまま）

左側の44鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
1度押されることで、音量レベルが手順1で選択した側に1段階変更されます。

鍵盤左端



3 鍵盤から指を離して調整を終了する

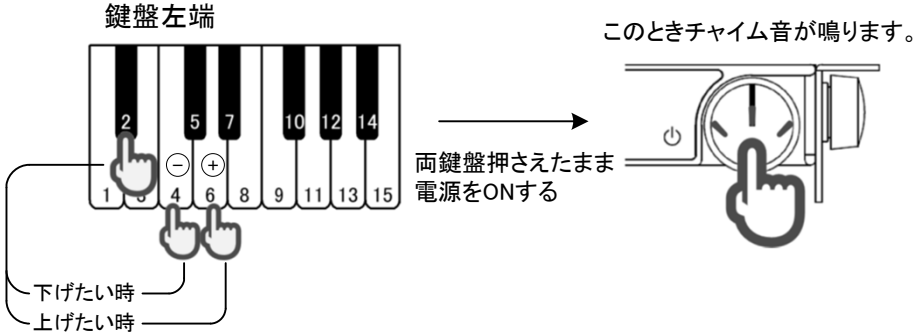
調整が終わったら押したままの鍵盤から指を離します。
この時、変更した値が設定され、電源を切っても保持されています。

鍵盤毎の音量を調整する（各鍵音量調整）

②右44鍵盤の調整

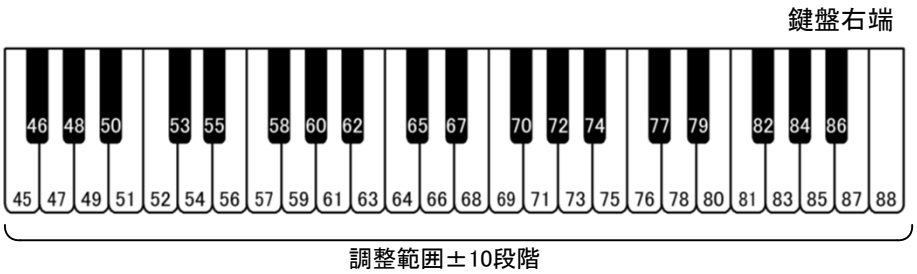
1　調整を開始する

レベルを上げたい時 ⇒ 鍵盤2と6（+印の白鍵）を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時 ⇒ 鍵盤2と4（−印の白鍵）を押しながら電源を入れます。



2　調整する　（調整開始時の両鍵盤は押さえたまま）

右側の44鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
1度押されることで、音量レベルが手順1で選択した側に1段階変更されます。

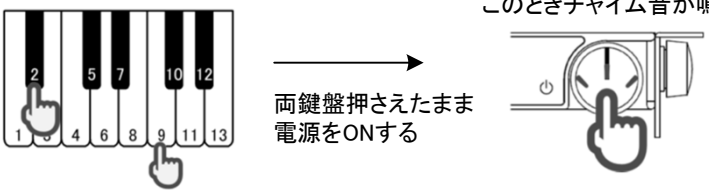


3　鍵盤から指を離して調整を終了する

調整が終わったら押したままの鍵盤から指を離します。
この時、変更した値が設定され、電源を切っても保持されています。

③調整内容をリセットする（出荷設定（±0）に戻す）

鍵盤2と9を押しながら電源を入れます。

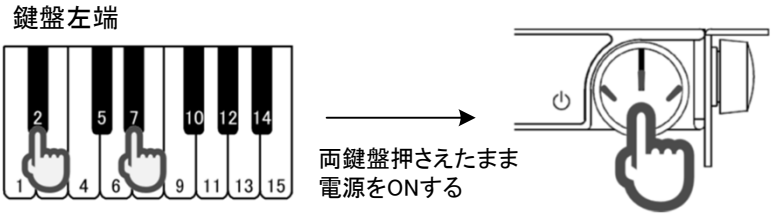


打鍵時の発音するタイミングを調整する（鍵盤検知範囲設定）

鍵盤を弾いたときの発音する深さを設定することで、発音タイミングを変化させます。
鍵盤を弾いたときの発音タイミングを変化させます。

1 調整を開始する

鍵盤2と7を押しながら電源を入れます。このときチャイム音が鳴ります。
（鍵盤は押さえたまま）

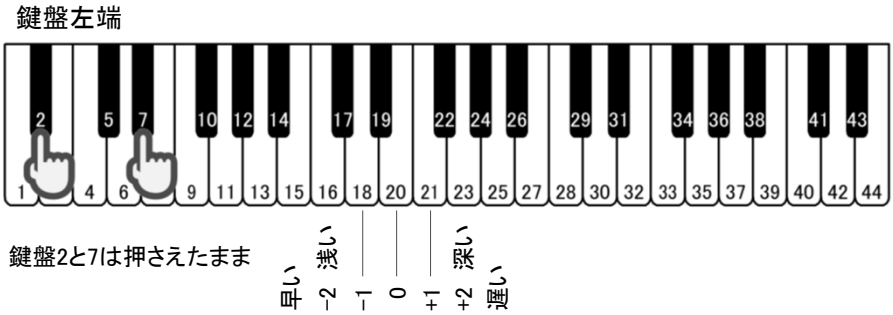


2 調整する

下記鍵盤表より選択します。

- 浅くしたい（早くしたい）場合⇒－側を選択します。
- 深くしたい（遅くしたい）場合⇒＋側を選択します。

発音位置を浅くすると発音タイミングが早くなります。



3 鍵盤から指を離して調整を終了する

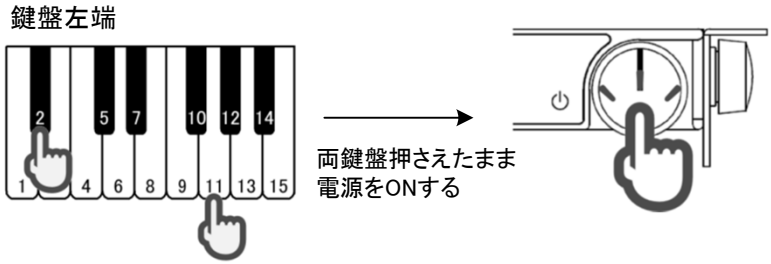
調整が終わったら鍵盤2と7から指を離します。
この時、最後に選択した発音位置に設定され、電源を切っても保持されています。

鍵盤を連打できる回数を変える（鍵盤連打設定）

1秒間に連打できる回数を設定します。お手持ちのピアノの連打性能と同じ性能にしたい場合や回数を増やしたい場合などに設定します。

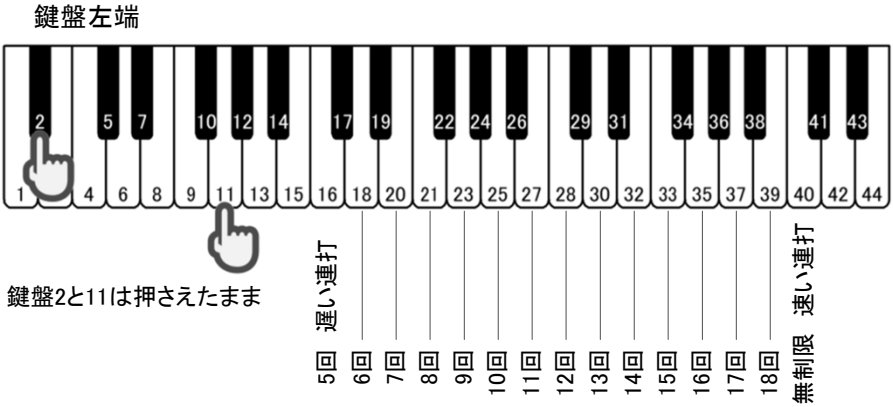
1 調整を開始する

鍵盤2と11を押しながら電源を入れます。このときチャイム音が鳴ります。
（鍵盤は押さえたまま）



2 調整する

下記鍵盤表より好みの回数を選択します。



3 鍵盤から指を離して調整を終了する

調整が終わったら鍵盤2と11から指を離します。
この時、最後に選択した回数に設定され、電源を切っても保持されています。

ご注意

連打性能が少ないピアノで回数を多く設定しますと、たまに大きな音が出るときがあります。

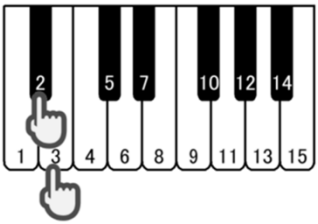
ペダルの調整

各種ペダルが掛かり始めるポイントを調整します。
また、ダンパーペダルの機能が選択できます。

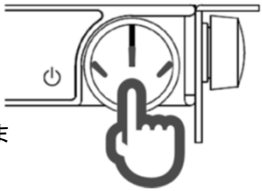
1 調整を開始する

鍵盤2と3を押しながら電源を入れます。このときチャイム音が鳴ります。
（鍵盤は押さえたまま）

鍵盤左端



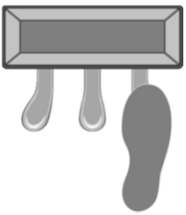
両鍵盤押さえたまま
電源をONする



2 調整する（鍵盤2と3は押さえたまま）

● ペダルの機能が働く深さを調整する場合

ダンパーペダルのとき

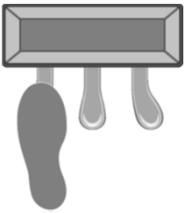


ダンパーペダルを踏み、
機能をオンさせたい深さで
止めます。

このままの状態で
再生ボタンを押します

チャイムが鳴り、
ペダルの深さを記憶します。

ソフトペダルのとき



ソフトペダルを踏み、
機能をオンさせたい深さで
止めます。

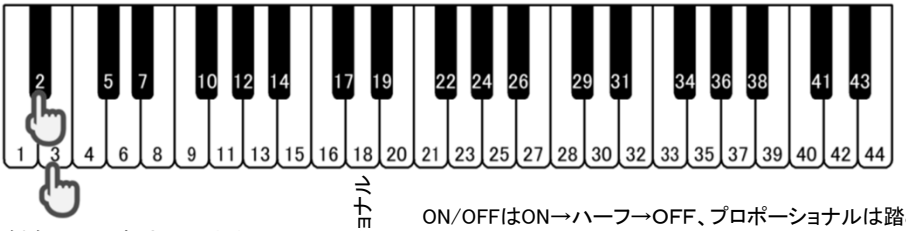
このままの状態で
再生ボタンを押します

チャイムが鳴り、
ペダルの深さを記憶します。

ペダルの調整

● ダンパーペダルの働き方を変える場合

下記鍵盤より機能を選択します。



鍵盤2と3は押さえたまま

ON/OFF
プロポーショナル

ON/OFFはON→ハーフ→OFF、プロポーショナルは踏み込まれた量に合わせてダンパー機能が働きます。
※ON/OFFを選択時は、調整したペダル深さの少し浅い位置からハーフ機能が働きます。

3 鍵盤から指を離して調整を終了する

ペダルの調整（ソフトペダルの効き具合を変える）

＜調整の画面＞

Androidのとき

+で効果を強くします
−で効果を弱くします

設定をキャンセルします

設定をデフォルトに戻します

設定を保存します

iOSのとき

+で効果を強くします
−で効果を弱くします

設定をキャンセルします

設定をデフォルトに戻します

設定を保存します

調律を変える（調律カーブ）

本機は調律カーブを編集できます。この操作は専用アプリから行います。

＜調律カーブ設定の画面＞

Androidのとき

1 調律したいピアノ音色を選択します

2 タップしてカスタムに変更します

3 鍵盤を選択します 鍵盤の打鍵でも選択できます

4 調律を変更します

5 設定を保存します

設定をキャンセル

ファイルロード
設定値をファイルからロードします

ファイルセーブ
設定値をファイルに保存します

設定をリセットします

iOSのとき

1 調律したいピアノ音色を選択します

2 タップしてカスタムに変更します

3 鍵盤を選択します 鍵盤の打鍵でも選択できます

4 調律を変更します

5 設定を保存します

設定をキャンセル

ファイルロード
設定値をファイルからロードします

ファイルセーブ
設定値をファイルに保存します

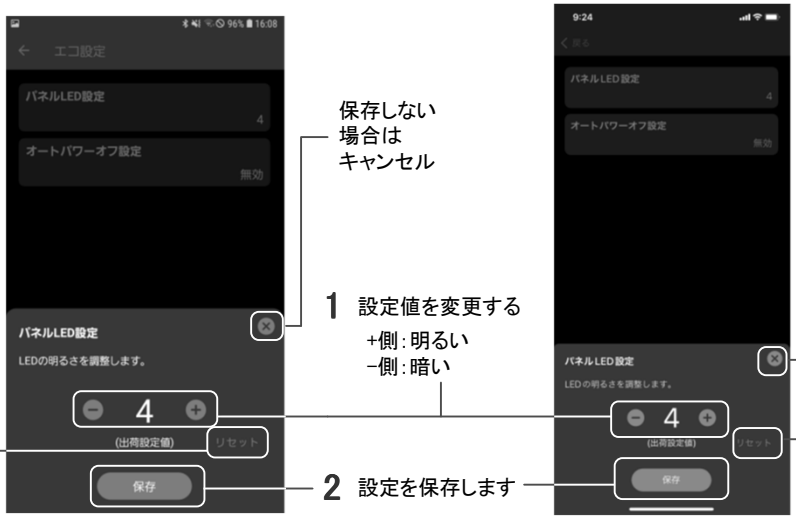
設定をリセットします

パネルの輝度を変える

パネルの明るさを変えることができます。この操作は専用アプリから行います。

＜パネルLED設定の画面＞

Androidのとき　　iOSのとき

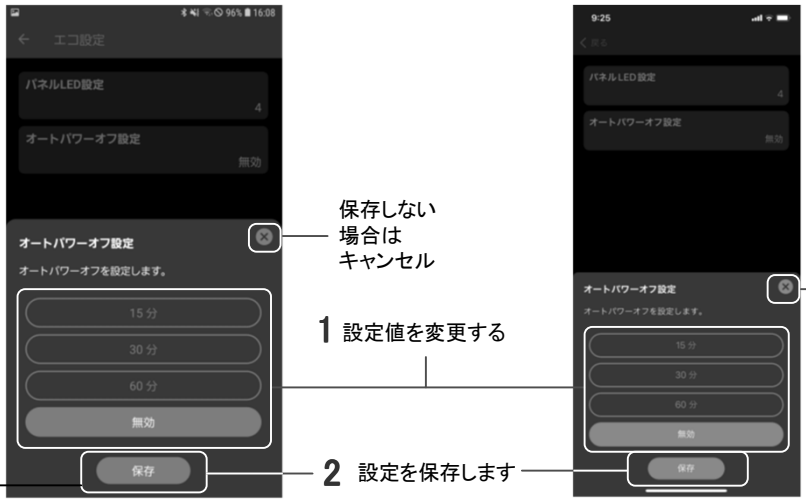


オートパワーオフ機能を使う

演奏していない間、設定した時間を経過すると本体の電源を自動的にオフします。
この操作は専用アプリから行います。

＜オートパワーオフ設定の画面＞

Androidのとき　　iOSのとき



設定の初期化（工場出荷設定）

全ての設定を出荷時の状態に戻します。

ご注意

本設定を行いますと、お客様が録音された録音曲や、取り付け時に設定したタッチ調整などの設定内容がすべて消えて工場出荷の状態に戻ります。
また、この設定を実施したあとには初期設定の操作が必要になります。必ず合わせて実施してください。

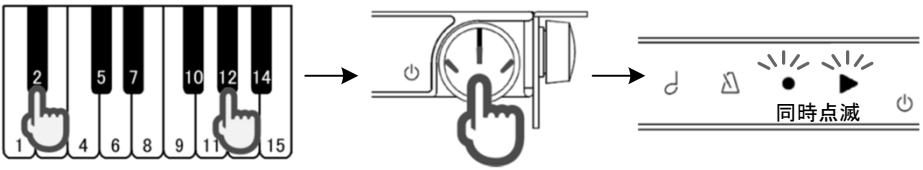
出荷設定内容

ユーザープリセット		デフォルト
音色		ピアノ
エフェクト	リバーブ	ホール、レベル3
	コーラス/ロータリー/ディレイ	OFF
トランスポーズ		OFF
4バンドイコライザー		フラット
メトロノーム		拍子=4、テンポ=120、音量=レベル3
録音曲		全て消去
初期設定		クリア
タッチ調整		4
黒鍵音量調整		0
各鍵音量調整		全88鍵盤±0
チューニング		440Hz
鍵盤検知範囲設定		0
ペダル調整		クリア
鍵盤連打設定（設定したピアノタイプによる）	アップライト	10
	グランド	14
キャリブレーション		クリア
オートパワーオフ		無効
パネルLED設定		4

1 鍵盤2と12を押しながら電源を入れる

このときチャイム音が鳴り、録音ボタンと再生ボタンが点滅します。

鍵盤左端



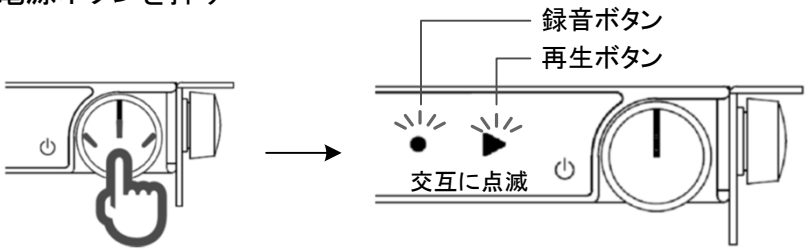
2 鍵盤から指を離す

録音ボタンと再生ボタンの点滅が完了した後、自動的に電源はOFFされます。

初期設定

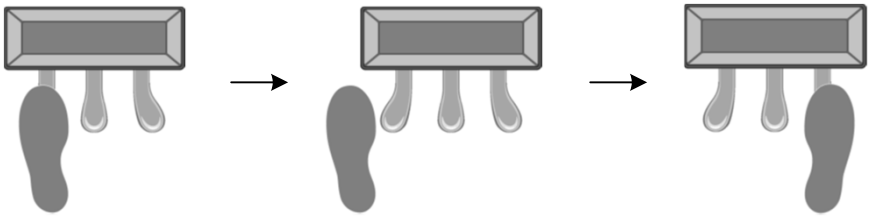
工場出荷設定を行った場合は、この設定を必ず行ってください。

1 電源ボタンを押す



鍵盤やペダルには触れない　　録音ボタンと再生ボタンが交互に点滅

2 ペダルを踏む



ソフトペダルを一番深い位置までゆっくりと踏み込む　　ペダルが戻る際にピアノ以外の音色が鳴る　　ダンパーペダルも同様に踏み込む

3 全ての鍵盤を打鍵する

鍵盤を一番深い位置まで一定の強さ（フォルテ程度）で打鍵します。鍵盤が戻る際に発音されるので、確認できたら次の鍵盤を同じように打鍵し、全ての鍵盤を打鍵します。
尚、打鍵する順番は問いません。

4 初期設定が完了するとチャイム音が鳴ります

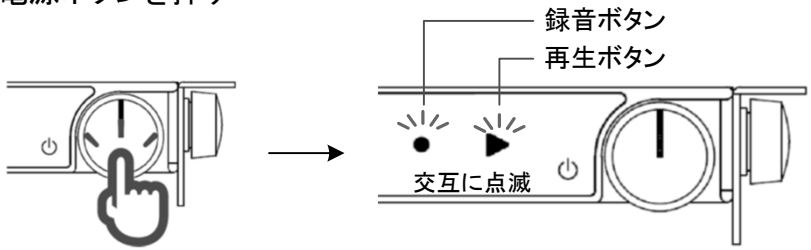
チャイム音が鳴らない場合

踏み込まれていないペダル、打鍵されていない鍵盤があります。
再生ボタンを押すと踏み込まれていないペダルや打鍵されていない鍵盤を下記の音でお知らせします。
ペダルの踏み込みや全ての鍵盤が打鍵されるとチャイム音が鳴り、初期設定が完了します。

- ペダルの場合：ピアノ以外の音色が鳴ります
- 鍵盤の場合　：打鍵されていない音程が鳴ります
  （複数の鍵盤が打鍵されていない場合は、その中で一番低い音程が鳴ります）

初期設定（専用アプリ操作の場合）

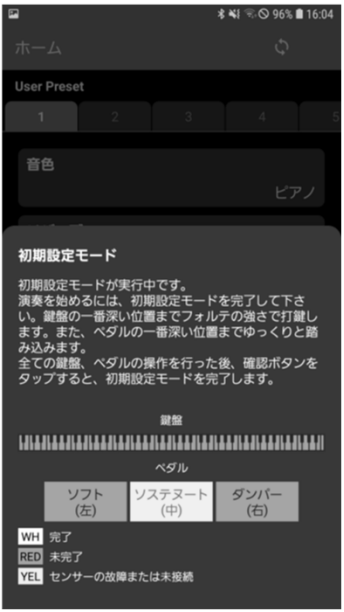
1　電源ボタンを押す



鍵盤やペダルには触れない　　録音ボタンと再生ボタンが交互に点滅

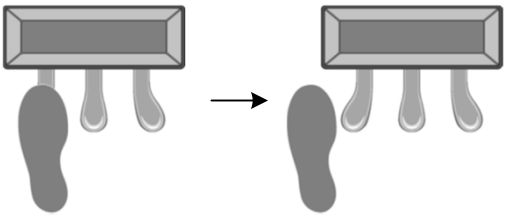
2　専用アプリと接続する

接続が完了すると初期設定の画面が表示される。
（赤色は未打鍵の箇所、黄色はセンサーがない、または異常な箇所）



3　ペダルを踏む

赤色表示のペダルを踏むと白色表示に変わります。



ソフトペダルを一番深い位置までゆっくりと踏み込む　　ペダルが戻る際にピアノ以外の音色が鳴る

ダンパーペダルも同様に踏み込む

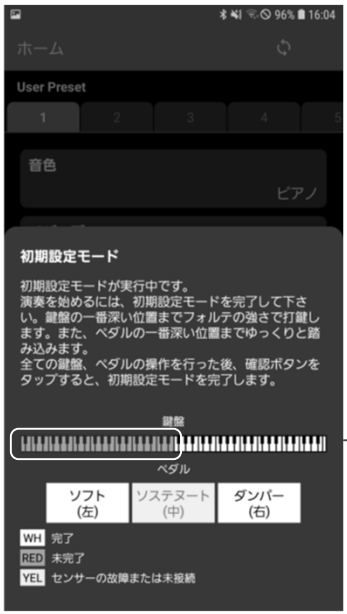
4　全ての鍵盤を打鍵する

鍵盤を一番深い位置まで一定の強さ（フォルテ程度）で打鍵します。鍵盤が戻る際に発音されるので、確認できたら次の鍵盤を同じように打鍵し、全ての鍵盤を打鍵します。
尚、打鍵する順番は問いません。

赤色表示の鍵盤を打鍵すると白色表示に変わります。

5 画面に「完了しました。」と表示されると正常に終了

OKをタップする



こんなときは

「完了しました。」と表示されない。

踏み込まれていないペダル、打鍵されていない鍵盤があると、該当箇所が赤色のままになっています。このペダルの踏み込みや音程の打鍵をしてください。

末永くご使用いただくために（メンテナンス）

本製品の性能を損なうことなく、末永くご使用頂くために、ピアノの「調律」や「整調」と同様に、下記のお手入れを定期的に実施していただきますようお願いします。

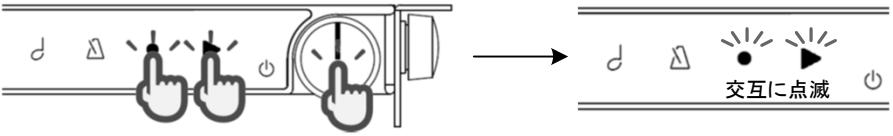
- キーボードユニットやペダルユニットのセンサー部の清掃
- キーボードユニットの高さ調整やペダルユニットの位置調整
- キーボードユニットやペダルユニットのキャリブレーション（下記参照）

キャリブレーションのやり方

キャリブレーションとは、キーボードユニットやペダルユニットのセンサー感度を再調整する機能です。

1 録音ボタンと再生ボタンを押しながら電源を入れる

このときチャイム音が鳴り、録音ボタンと再生ボタンが交互に点滅します。



両ボタン押したまま → 電源を入れる

2 ペダルをゆっくり踏み込む

ソフトペダルとダンパー（サスティーン）ペダルを一番深い位置までゆっくりと踏み込みます。ペダルが戻る際にピアノ音色以外の音が鳴ります。
踏み込む順番は問いません。
尚、再調整が必要なペダルだけでも調整は可能です。

3 全ての鍵盤を一番深い位置までフォルテ程度の強さで打鍵する

鍵盤が戻る時に発音されますので、確認できましたら次の鍵盤を打鍵します。打鍵する順番は問いません。尚、再調整が必要な鍵盤だけでも調整は可能です。

4 再生ボタンを押す

録音ボタンと再生ボタンが消灯して、調整モードが終了したことをチャイムでお知らせします。

ご注意

必ず再生ボタンを押して、キャリブレーションを終了します。
誤って電源ボタンを押された場合、キャリブレーションは完了していませんので、最初からやり直してください。

Q&A

Q.質問	A.回答
定期的にキャリブレーションをするはなぜですか？	ピアノの状態やセンサーの状態は、温度や時間によって時事変化していきます。最適なタッチ感を得るために、定期的にキャリブレーションを行ってください。
キャリブレーションをするタイミングはいつがよいですか？	ピアノ本体の整調や調律、ピアノ本体を移動させた後など、強弱に違和感があった場合に行ってください。
軽く打鍵しただけでも発音する場合があるのを避けたいのですが。	鍵盤検知範囲設定で、深い方（+1または+2）に変更してみてください。
USB端子にUSBメモリは接続して使用できますか？	スレーブ機能のみとなっております。 USBメモリは差さないでください。
使用できるUSBケーブルはなにがありますか？	Type-A to Type-CまたはType-C to Type-C(どちらもUSB2.0、USB3.1)なら使用可能です。
音色選択ボタンで選択する音色は変更出来ないですか？	専用アプリのユーザープリセット機能で変更できます。
エフェクトの情報を保存したいのですが。	専用アプリのユーザープリセット機能を使うと保存できます。
スピーカを使って演奏したい場合、どう接続したらよいですか？	φ3.5のステレオオーディオケーブルを使用してLINE-OUT端子に接続してください。
初期設定とはどんな機能ですか？	本機の取付の際に行う、鍵盤やペダルの移動量に応じて最適な鍵盤の発音位置やペダルのオン／オフ位置を自動設定する機能です。
ワイヤレスヘッドホンは使えますか？	オーディオの規格に対応していないため使用できません。
コンピュータに転送した録音データを音楽プレーヤーで再生したい場合、どうすればよいでしょうか。	データはMIDIファイルのため、そのままでは再生できません。 コンピュータにてMIDIからMP3又はWAV変換を行う必要があります。 別の方法として、ヘッドホン端子とコンピュータをφ3.5のステレオオーディオケーブルで接続し、録音データを再生しながらコンピュータのソフトを使用して録音する方法があります。 この場合AK-02の音で録音できます。
設定を保存できますか？	ユーザーが設定した設定情報や録音データをスマートデバイスにバックアップしたり、本機にスマートデバイスからリストアできます。

故障かな？とおもったら

録音ランプと再生ランプ点滅のまま正しく発音しない

- 工場出荷の状態のままです。
  全鍵盤をフォルテでの打鍵と全ペダルの踏み込みを行った後、再生ボタンを押してください（52ページ）。

電源が入らない（電源ボタンを押しても電源ランプが点灯しない）

- ACアダプタはコンセントに差し込まれていますか？
- 音源BOX裏のDC INにACアダプタジャックが差し込まれていますか？
- それでも電源が入らない場合は、ACアダプタをコンセントから抜き、お買い上げ店へ修理をご依頼ください。

音が鳴らない

- 打鍵した時に、本機のインジケータが点滅しますか？
  点滅しない場合⇒音源BOX裏のKEYBOARDにケーブルが接続されているか確認してください。
- ボリュームが最小になっていませんか？
- ヘッドホンジャックは最後まで差し込まれていますか？

特定の鍵盤で音が鳴らない、大きい、小さい

- キャリブレーションがずれている可能性がありますので、キャリブレーション（56ページ）を行ってみてください。それでも直らない場合は、お買い上げ店へご相談ください。

音が抜ける

- ダンパー（右）ペダルを踏みながら、多くの鍵盤を弾く場合などに同時発数が足りなくなり音が消えることがありますので、故障ではありません。
- ハンマーの戻りが遅いピアノの場合、ハンマーの戻りと打鍵時の衝突により正しい打鍵を認識できない場合があります。連打設定を小さくしてみてください。（45ページ）

チャイム音が鳴らない

- 指定以外の鍵盤やボタンも押されたまま電源を入れていませんか？
- 押さえたままの鍵盤やボタンから指が離れていませんか？

メトロノームを鳴らしているときに鍵盤の音が鳴らない

- メトロノームが設定状態になっていませんか？
  メトロノームボタンが点滅状態の場合は設定状態となり、鍵盤からは音が鳴りません。

故障かな？とおもったら

消音していてもピアノから生音がもれる

- 止音レバーを手前に引いていますか？
- 和音を強く打鍵した場合に、ピアノの音がもれることがあります。

ペダルを踏んでも効かない

- キャリブレーションやペダル調整がずれている可能性がありますので、キャリブレーションやペダル調整を行ってみてください。
  それでも直らない場合は、お買い上げ店へご相談ください。

メトロノームのテンポが設定されない

- テンポの入力で4ケタ以上の入力をしたり、3ケタ未満の入力の場合は設定されません。
  その場合はもう一度最初の手順から設定し直してください。（26ページを参照）

電源が突然切れた。いつの間にか切れていた

- オートパワーオフを設定されていませんか？
  設定の確認や変更は専用アプリから行います。

スマートデバイスと無線接続ができない

- スマートデバイスでBluetooth設定をしていますか？（14ページ）
- 専用アプリのBluetooth設定がオンになっていますか？（15ページ）
- Android端末の場合には下記についてもご注意ください

① 位置情報とBluetoothの設定は「設定」画面からオンにしていますか？（14ページ）
アプリを起動したときにも聞いてくることがありますが、そこでオンにしてもBluetoothが使えないことがあります。「設定」画面からオンにしてください。

② アプリのサウンド画面でBluetooth MIDI Deviceを選択する際に『ANYTIME AK-02』を選んで「（接続済み）」となってから「OK」をタップしていますか？（15ページ）
『ANYTIME AK-02』をタップせずに「OK」しても接続されません。

③ AK-02はペアリングをせずにスマートデバイスと接続します。ペアリングをすると接続できない場合がありますので、ペアリングをしてしまった場合は「ペアリングされたデバイス」から『ANYTIME AK-02』を削除してください。

- 本機のBluetooth設定がOFFになっている可能性があります。
  Bluetooth設定をONする場合：音色選択ボタンと録音ボタンを押しながら電源をONする
  Bluetooth設定をOFFする場合：音色選択ボタンと再生ボタンを押しながら電源をONする
  チャイム音が鳴りましたら設定が反映されます。

デモ演奏/音色リスト

デモ演奏一覧

曲順	曲 名	作 曲 者
1	プレリュード(平均律第1巻 第1番)	J.S.バッハ
2	エリーゼのために	L.v.ベートーヴェン
3	月光(第一楽章)	L.v.ベートーヴェン
4	Shenandoah	アメリカ民謡
5	Danny boy	アイルランド民謡
6	I love you, porgy	ジョージ・ガーシュイン
7	Someday my prince will come	フランク・チャーチル
8	All the things you are	ジェローム・カーン
9	Someone to watch over me	ジョージ・ガーシュイン
10	My wild irish rose	チャンセラー・オルコット

音色リスト

鍵盤操作で選択可能な音色

1	ピアノ
2	ブライトピアノ
3	メローピアノ
4	ピアノ＋ストリングス(Fast)
5	ピアノ＋ストリングス(Slow)
6	ブライトピアノ＋リバーブ
7	エレクトリックピアノ1
8	エレクトリックピアノ2
9	ハープシコード
10	チャーチオルガン
11	ウォームオルガン
12	パーカッシブオルガン
13	エレクトリックピアノ3
14	ホンキートンク
15	エレクトリックピアノ4
16	クラビネット
17	チェレスタ
18	グロッケン
19	オルゴール
20	ビブラホーン
21	サントゥール
22	ドローバーオルガン1
23	ドローバーオルガン2
24	ロックオルガン
25	スモールチャーチオルガン
26	リードオルガン
27	フレンチアコーディオン
28	ハーモニカ
29	バンドネオン
30	ギター(ナイロン弦)
31	ギター(スチール弦)
32	エレキギター(ジャズ)
33	コーラスギター
34	オーバードライブギター
35	ディストーションギター
36	アコースティックベース
37	フィンガリングエレキベース
38	スラップベース
39	シンセベース
40	バイオリン
41	チェロ
42	トレモロストリングス
43	ハープ
44	ストリングス

45	スローストリングス
46	ストリングス＋ホルン
47	シンセストリングス
48	コーラス
49	コーラス2
50	シンセボーカル
51	トランペット
52	トロンボーン
53	チューバ
54	フレンチホルン
55	ブラス＋トランペット
56	シンセブラス1
57	シンセブラス2
58	シンセブラス3
59	シンセブラス4
60	ソプラノサックス
61	アルトサックス
62	テナーサックス
63	バリトンサックス
64	イングリッシュホルン
65	バスーン
66	クラリネット
67	ピッコロ
68	フルート
69	リコーダー
70	パンフルート
71	オカリナ
72	シンセリード2(鋸歯状波)
73	シンセリード5(チャラング)
74	シンセリード6(声)
75	シンセリード8(ベース＋リード)
76	シンセパッド2(ウォーム)
77	シンセパッド3(ポリシンセ)
78	シンセパッド4(人声)
79	シンセパッド5(ボウ)
80	シンセパッド7(ハロー)
81	クリスタル
82	アトモスフィア
83	ブライトネス
84	エコー
85	シタール
86	琴
87	バグパイプ
88	スチールドラム

専用アプリで選択可能な音色

89	マリンバ
90	シロフォン
91	チューブラベル
92	ミュートギター
93	ギターハーモニクス
94	ピックベース
95	フレットレスベース
96	スラップベース2
97	シンセベース1
98	ビィオラ
99	コントラバス
100	ピッチカート
101	ティンパニ
102	ストリングアンサンブル2
103	シンセストリング1
104	オーケストラヒット
105	ミュートトランペット
106	オーボエ
107	ボトルブロー
108	尺八
109	口笛
110	シンセリード1(矩形波)
111	シンセリード3(カリオペ)
112	シンセリード4(チフ)
113	シンセリード7(フィフス)
114	シンセパッド1(ニューエイジ)
115	シンセパッド6(メタリック)
116	シンセパッド8(スウィープ)
117	雨
118	サウンドトラック
119	ゴブリン
120	サイファイ
121	バンジョー
122	三味線
123	カリンバ
124	フィドル
125	シャナイ
126	ティンクルベル
127	アゴゴ
128	ウッドブロック

MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 ×	1-16 1-16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × ********	モード3 ×	
ノートナンバー	 :音域	21-108 ********	0-127 0-127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ ○	○ ○	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロール チェンジ	64 66 67 00 01 05 06 07 10 11 65 91 93 120 98、99 100、101	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル バンクセレクト モジュレーション ポルタメントタイム データエントリ ヴォリューム パン エクスプレッション ポルタメント　オン／オフ リバーブ コーラス オールサウンドオフ NRPN　LSB, MSB RPN　LSB, MSB
プログラム チェンジ	 :設定可能範囲	○ ********	○ 0-127	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	:ソング・ポジション :ソング・セレクト :チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	:クロック :コマンド	× ×	× ×	
その他	:ローカルON/OFF :オール・ノートオフ :アクティブセンシング :リセット	× × × ×	○ ○ × ×	

モード1:オムニ・オン、ポリ　モード2:オムニ・オン、モノ　○:あり

モード3:オムニ・オフ、ポリ　モード4:オムニ・オフ、モノ　×:なし

本体仕様

同時最大発音数		247音
音色数		128音色
音源メモリ容量		1GByte
内蔵デモ曲		10曲
メトロノーム		拍子、テンポ、音量の調整が可能
録音・再生		録音：20曲、録音容量 約15,000音／曲
		再生：変速再生（0.5～2倍）
ペダル	ダンパー	プロポーショナル、ON／OFF(ハーフ対応)
	ソフト	ON／OFF
リバーブ		ルーム、ホール
エフェクト		ロータリー、コーラス、ディレイ
トランスポーズ		±24半音
4バンドイコライザー		±10dB
チューニング		440±13Hz(427～453Hz)
各種設定・調整		タッチ調整、鍵盤音量調整、鍵盤検知範囲設定、ペダル調整、鍵盤連打設定、調律、初期設定、キャリブレーション など
外部端子	アナログ	ヘッドホンジャック（φ3.5ステレオ）×2、ライン出力（φ3.5ステレオ）×1、ライン入力（φ3.5ステレオ）×1
	デジタル	USB2.0スレーブ（MIDI）
無線インタフェース		Bluetooth 5.1 (BLE-MIDI)
電源電圧		DC+12V（専用ACアダプタ）
消費電力		DC6W以下
本体寸法		幅157mm×奥行き103mm×高さ19mm（突起物含まず）
付属品		ヘッドホン、ACアダプタ、取扱説明書（本書）
専用アプリ		ANYTIME AK-02（iPhone：iOS12.0以上、Android：6.0以上に対応）

●製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 静岡県浜松市中央区寺島町200番地
https://www.kawai.co.jp/

■お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用ください。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00～12：00 / 13：00～17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

https://www.kawai.jp/ より「お客様サポート」へお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

© 2023（株）河合楽器製作所
本取扱説明書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。
2024年10月発行

ONI24L-23K
Printed in Japan